



ご挨拶

熊本県の新しいリーダーが誕生しました。

三月二十四日、熊本県知事選挙の投票日の天気は暴風、投票所への出足は悪く、投票率は四十九・六三%と有権者の半分以上も一票を投じていないという結果でした。今回、当選された木村氏は有権者の二十六・九%の支持で県知事に就任されるのです。このことはこれからの県政運営に心していただきたいことです。投票しなかった人の思いも背負いながら真摯に向き合って欲しいと思います。

新年度になり、早いもので県議選挙から一年になります。あつという間であり、多忙を極めた一年でしたが、皆さまのご支援に感謝致します。

二年目を迎え、「安心して暮らせる社会をつくるために」の政策がいかに必要かを実感しています。活動を活性化するために、もっと皆さんの所に足を運び、ご意見を聞かせていただく必要があると考えています。皆さまからも遠慮なくお声かけください。頑張って参りますのでこれからもどうぞ宜しくお願いいたします。

議会概要

県知事選挙の関係で遅くなりましたが、2月定例議会の報告を致します。

- ◆ 2月議会は2月9日開会、3月4日閉会の25日間でした。
令和6年度当初予算は知事の改選期となるために「骨格予算」として編成されています。
その後、新知事の政策予算などが肉付けされることになります。
議会最終日に全ての議案が可決。承認されました。

区分	件数	説明
予算関係	40件	令和5年度2月補正予算と令和6年度当初予算
条例関係	21件	会計年度任用職員の給与に関するもの。育児休業に関するものなど
財産関係	2件	財産の減額貸付け・財産の取得
工事関係	8件	工事請負契約の締結・変更
計画関係	1件	第5次くまもとヘルスプランの策定
その他	7件	専決処分の報告及び承認など
人事案件	2件	監査委員の選任
議員提出議案	1件	政務活動費の交付に関する条例の一部改正
委員会提出議案	1件	県議会会議規則の一部を改正する規則の制定

- ★開会日に、議長、副議長選挙が行われ、私の投票とは違いましたが、議長：山口裕氏（上天草市）、副議長：高木健次氏（合志市）が当選されました。
- ★常任委員会、特別委員会の改選も行われ、私は引き続き「総務委員会」と、特別委員会は「海の再生及び環境対策特別委員会」に変わりました。

骨子
予算

■ 令和5年度補正予算・令和6年度当初予算から (資料が必要な方は事務所まで連絡下さい)

■ 八代市に県の工業団地を整備……………1,000万円

熊本県はTSMC進出の波及効果を県全域に広げるため、昨年、県南の八代市に県の工業団地を整備すると表明しました。場所の候補地は八代市が主導することになりますが、県としても当初予算として適地調査のために約1,000万円を計上しました。

★八代地域、県南地域の活性化に繋がれば良いなと期待しますが、人材の確保や半導体関連なら地下水や球磨川の利用に関して心配なこともあります。市・県は積極的に情報を公開する姿勢が必要です。そのことを県にも求めています。

■ 赤潮被害低減の取り組み……………5,200万円

令和3年から連続3年有害赤潮が発生。累計で約36億円を超える被害額。今後、モニタリング調査、赤潮被害低減に資する資材や餌などの使用に対する補助

★表は（八代海における近年の赤潮被害状況）

年	原因赤潮	被害額 (百万)	被害数 (千尾又は千個)	主な被害魚
R3	シャットネラ	91	65	シマアジ
R4	カレニア	1,965	2,916	シマアジ、トラフグ、カンパチ、マダイ、アコヤガイ
R5	コクロディウム カレニア シャットネラ	1,544	1,124	マダイ、ブリ、トラフグ、シマアジ、ブリ

熊本の水産業の中心となる養殖業が安心して続けられる対策が必要です。

■ 男性職員の育休促進……………5,600万円

男性職員の育休取得の課題として①代替職員の確保が困難②職場に迷惑をかける③欠員による他の職員の負担増があります。そこで会計年度職員を20人を通年で雇用し、通常は多忙な部署に配置。育休の欠員がでたらそこに配置するなど機動的に人員補充ができるようにするものです。

★気兼ねなく育休がとれる職場環境が必要です。しかし、会計年度職員ではなく正職員としての雇用を図るべきではないかと思います。採用状況をみながら意見を述べていきます。

■ 出産・子育てに対する支援……………49億1,500万円

児童手当の拡充・経済的支援・訪問支援・周産期医療体制の強化などの支援を行う予算

①児童手当の拡充（現行制度を10月以降拡充する）

拡充内容は＊所得制限の撤廃＊支給期間を18歳まで延長＊第3子以降を3万円に増額

②子育て世帯への訪問支援

③周産期医療の体制強化

●産科医の育成のために熊本大学での寄附講座を設置し、産科医指導医師2人の雇用をすることで、地域周産期中核病院等に対する診療支援や産科医師の育成を行うもの。

★八代市の熊本労災病院産科は地域周産期中核医療を担っていました。しかし今年2月熊大からの産科医師派遣がおこなわれなかったために、産科の休止となっています。さまざまな理由はあるのですが、県南地域の周産期は危機的な状況にあります。安心して子どもを産むことのできる環境整備は絶対に必要です。今後の取り組みを注視し意見を述べていきます。

■環境モニタリング等の実施………1,800万円

県内で半導体関連企業の集積が進む中、工場からの化学物質等の排出を懸念する意見が寄せられていることから、従来実施してきた規制物質の調査に加えて、規制外の化学物質等についてもモニタリングを実施。また、環境省が指針値（暫定）を定めた有機フッ素化合物（PFOS,PFOR）についても、県内の一部で指針値（暫定）の超過が確認されたことから、県内全域で調査を実施するものです。

（１）半導体関連企業の集積に伴う周辺環境モニタリング

大気・水質のモニタリングを行い、専門家で構成される委員会で検証

区 分	内 容	地 点
①大気	金属類：18項目 化学物質：揮発性有機化合物	セミコン周辺
②水質	金属類：18項目 化学物質：有機フッ素化合物250項目 その他の化学物質10,000項目 (スクリーニング)	・坪井川 ・有明海 ・セミコン周辺地下水 等



（２）有機フッ素化合物調査

内容：有機フッ素化合物調査（PFOS,PFOAなど）の調査

地点：県内の河川及び地下水70地点程度（県73・熊本市45・国4＝122カ所）

★調査とその調査結果の公表、そして物質が検出された場合や基準値を超えた場合にどのような対応、対策をとるのか重要だと考えます。

■JR肥薩線 八代-人吉間 鉄道復旧する方向性で合意

この報を受け、球磨川沿線を走る列車の風景、時は桜満開の時期、桜花びら舞う中を走る列車を思い出し心躍りました。再びあの感動をと思ったのは私だけでは無いはずです。

前回の検討会議（2月13日開催）でJR九州側から示された「マイレール意識の醸成と日常利用の創出」は地域の鉄道を県民全体で守り育てていく意識をもって日常的に利用しようというもの。

そもそも赤字路線でありましたし、沿線自治体の少子高齢化は進み通勤・通学の利用も見込めず、公共交通の利便性が悪い地域で車利用が当たり前の生活であるのに、どのようにしてJRの日常利用を創り出していくのか、高いハードルだと思っていました。しかし、「鉄道復旧で合意」されたのです。



これからが勝負です。現状を正確に分析しながら、まずは沿線住民が肥薩線復旧の思いを醸成し、利用につなげていくことだと思います。その具体策を県は住民と共に検討していく必要があります。なかなか人に向き合わない県の姿勢を幾度となくみてきましたが、今回は期待を裏切らないで欲しいと思います。

活動
報告

「幸村かよこ」の主な活動報告(2023年12月～2024年3月)
今回、期間が4か月になりますので、一部を報告します。



2023年12月 9日	性教育実践講座(教組八代支部)
10日	交際交流の集い(地域日本語支援やつしろクラブ)
12日	私学助成の拡充を求める要望活動(熊本)
16日	定時制・通信制の灯を消すな県民集会(荒尾)
27日	晩白柚出発式
2024年1月 3日	氷川町20歳の集い
5日	高田校区どんぐりや・八代市20歳の集い
10日	連合熊本旗開き
20日	ダムで命と清流は守れるのか!集会(人吉) 女性のための政治入門塾(女性県議の会)
28日	八代市消防出初式
2024年2月 1日	県政報告会(連合県南地協)
5日	全国女性県議の会視察研修 ～6日(所沢市・川越市・三芳町)
9日	県議会開会～3月4日閉会
23日	県政報告会・後援会総会
24日	全国GMOフリーゾーン運動交流集会～25日(熊本)
29日	八代亜紀さんお別れの会
2024年3月 1日	県立高校卒業式～2日
3日	千丁蘭草まつり
4日	川辺川ダム環境アセスに関する公聴会～5日
7日	県知事選挙告示～24日投票日
10日	肥薩おれんじ鉄道開業20周年記念
18日	川辺川ダム環境アセス公聴会に対する県への申し入れ



1月17日能登半島地震
被災者支援金活動(熊本)



3月9日(新八代駅)
アウトドアステーション開所式



3月10日(新八代駅)
おれんじ鉄道20周年記念列車

お知らせ

県政報告会を行います！

日 時 2024年5月24日(金) 19時より
会 場 二見コミュニティセンター 八代市二見下大野町2432-1

戸皆さまお誘いあわせてお気軽にご参加ください戸

★ご意見、ご要望など下記までお気軽にお寄せください。

熊本県議会議員

幸村かよこ事務所

〒866-0852 八代市大手町1-59-2 八代教育会館1F

☎0965-37-8258 FAX0965-37-8268 mail:yukimura.fanclub@gmail.com